

富山高等専門学校		開講年度	平成29年度 (2017年度)	授業科目	港湾実務
<b>科目基礎情報</b>					
科目番号	0067		科目区分	専門 / 選択	
授業形態	授業		単位の種別と単位数	学修単位: 2	
開設学科	国際ビジネス学専攻		対象学年	専2	
開設期	前期		週時間数	2	
教科書/教材	浅妻裕, 福田友子, 外川健一, 岡本勝規『自動車リユースとグローバル市場—中古車・中古部品の国際流通』,成山堂書店,2017。その他、適時プリント等を配布する。				
担当教員	岡本 勝規				
<b>到達目標</b>					
①貿易条件の種類及び輸出入に向けた港湾運送手続き、通関手続き、代金決済手続きについての基礎的知識を習得する。 ②倉庫の運用について基礎的知識を習得する。					
<b>ルーブリック</b>					
		理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	未到達レベルの目安	
評価項目1		貿易条件の種類及び輸出入に向けた港湾運送手続き、通関手続き、代金決済手続きについての専門用語を個々に説明できると共に、それらの用語を用いて各手続きの流れと目的、利点・欠点を説明できる。	貿易条件の種類及び輸出入に向けた港湾運送手続き、通関手続き、代金決済手続きについての専門用語を個々に説明できる。	貿易条件の種類及び輸出入に向けた港湾運送手続き、通関手続き、代金決済手続きについての専門用語を個々に説明できない。	
評価項目2		倉庫の運用についての専門用語を個々に説明できると共に、それらの用語を用いて各手続きの流れと目的、利点・欠点を説明できる。	倉庫の運用についての専門用語を個々に説明できる。	倉庫の運用についての専門用語を個々に説明できない。	
<b>学科の到達目標項目との関係</b>					
<b>教育方法等</b>					
概要	学習目標(授業の狙い) 港の機能と役割について学ぶ。その後、事例を元に荷主が一般港湾運送業者・通関業者に委託して行う貿易実務の内容として、船積み書類及び輸出入申告の手続と、それらと商取引代金決済手続きの関係について学ぶ。最後に、倉庫業の役割と現在の動向について学ぶ。				
授業の進め方・方法	教員2名のオムニバスによる講義を実施する。				
注意点	教科書の指定された部分に関してはあらかじめ目を通しておくこと。 各学生の評価は、中間試験より前の講義については、レポートに対して付ける点数と中間試験の結果の点数を、それぞれ50%として、中間試験より前の講義に関する評定点数とする。中間試験より後の講義については、期末試験の結果の点数を100%として、中間試験より後の講義に関する評定点数とする。最後に両評定点数を合計して2で割り、本科目についての評価を決定する。				
<b>授業計画</b>					
		週	授業内容	週ごとの到達目標	
前期	1stQ	1週	ガイダンス	授業計画、到達目標、評価方法が理解できる。	
		2週	港湾の機能と役割	港湾の概念が理解できる。	
		3週	港湾の機能と役割	港湾管理の概要が理解できる。	
		4週	港湾の機能と役割	港湾管理と経済の関係が理解できる。	
		5週	港湾の機能と役割	世界の主要港湾を具体例として、港湾の機能と役割についてケース・スタディを実行する。	
		6週	港湾の機能と役割	港湾の機能と役割に関する事例を各自パワーポイントで発表・討論し、まとめを行った上で、港湾の機能と役割を具体的に理解する。	
		7週	中間試験	講義開始以降中間試験実施より前に講義した内容について理解度を測るために中間試験を行う。	
		8週	輸出に向けた輸送手続きの制度	輸出制度の変化を概観し、輸出貿易管理令と関税法基本通達の役割を理解する。また、輸送段階と輸送手段の概要を把握する。	
	2ndQ	9週	輸出に向けた輸送手続きの制度と荷物の流れ	インコタームズに定められた、主たる貿易定型条件の内容を理解する。	
		10週	輸出に向けた輸送手続きと荷物の流れ	B/L発行に至るまでの、船積みのための手続きを把握し、各書類の役割を理解する。	
		11週	輸出に向けた通関手続きと荷物の流れ	E/P発行に至るまでの、通関のための手続きを把握し、各書類の役割を理解する。また、S/Aの内容と目的を理解する。	
		12週	輸出に向けた代金決済手続きと荷物の流れ	L/C付き荷為替手形決済や、T/Tなど、商品代金回収のための手続きを把握し、船積み手続き・通関手続きとの関連、決済方法の利点・欠点を理解する。	
		13週	倉庫業経営の特質	倉庫の種類とその収益構造、立地戦略を理解する。	
		14週	倉庫業の業際化と系列化	規制緩和以降、倉庫業界で進んだ業際化と系列化について、その背景となったビジネス環境の変化を把握し、経営戦略上の意義を理解する。	
		15週	期末試験	中間試験より後、期末試験より前までに講義した内容について理解度を測るために期末試験を行う。	
		16週	答案返却、解説	本科目の成績について確認する。	
<b>モデルコアカリキュラムの学習内容及到達目標</b>					
分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
<b>評価割合</b>					

	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	75	25	0	0	0	0	100
基礎的能力	0	0	0	0	0	0	0
専門的能力	75	25	0	0	0	0	100
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0